

FAX送信票

送信日時	平成 14 年 3 月 27 日 (水) (16:20)			
送信先	木藤 殿 3508-2414			
内容	森 副会長 にお渡しください			
送信枚数 (除送信票)	A4	B4	A3	合計
	3 枚	枚	枚	3 枚
備考				
発信者	日本原子力発電株式会社 中岡所長 総務室 地域業務グループ 清水 TEL: 03 (3212) 0598 (ダイレクトイン) FAX: 03 (3212) 8464			

宿毛地点の状況について

1. 宿毛市の状況

(1) 所在・人口

- 所 在：高知県の県庁所在地、高知市より西南西約100km。
- 人 口：約2.5万人(H13.1時点)
宿毛市となった昭和29年時点では3.25万人。
以降、過疎化が進み、昭和45年に約2.5万人。それ以降、微増傾向。
- 概 況：地理的条件や産業基盤の立ち後れもあり過疎化が進んだが、高知西南中核工業団地(完売)、宿毛港湾整備など新たな開発が進み、近年は人口は横這い微増。
県西南地域の中核都市として臨海部を中心に工業・流通機能を担う。
平成9年には3セク「土佐くろしお鉄道宿毛線」が開通、交流人口の増加が期待され、丘陵部では宅地造成が進んでいる。
- その他：「すくも」とは、枯れた芦のことで、当地は昔から湿原であったため、この地名が生まれたと伝えられている。

(2) 産業・財政状況

○ 就業者

① 第一次産業：17.5%

農 業：9.7%：水稻、野菜
漁業・水産加工：6.9%：養殖ハマチ、タイ

② 第二次産業：30.2%

建 設 業：14.1%：
製 造 業：16.0%：電気機械、衣服、金属

③ 第三次産業：52.3%

卸・小売・飲食：19.6%
サ ー ビ ス 業：22.7%

○ 農業の状況

ほ場整備率が78%（農業地区内平成9年3月末現在）と進み、地域の立地条件を活かした夏場のオクラ・冬場のブロッコリー等の露地野菜、なす・きゅうり等の施設野菜、イ草等の工芸作物、土佐文旦・小夏等の果樹が主要作物。

○ 漁業の状況

黒潮の影響を受けて好漁場が形成され、まき網や敷き網等を中心に様々な漁法が湾内で見られる。

なかでも養殖業は、高知県下水揚げ量の過半数を占めており、漁種としてはブリ類、タイ、アジなどが中心。

○ 農業、水産業の衰退

	昭和40年代	平成5～7年
農業人口	11,096 (人)	4,339 (人)
水産経営体	809 (体)	389 (体)

○ 財政規模

歳入・歳出：約190億円 (財政力指数：0.35)

(3)市 政

○市 長：山下幸雄（68）。

- ・昭和29より市役所入り、議会事務局次長、総務課長などを歴任し昭和57より助役、H11.12初当選、一期目。
- ・7期21年間続いた前市長 林 遼（さすが）氏がH11.11に東京駅で急死。このため、H11.12に市長選立候補。無所属、自民・民主・社民推薦。
- ・対立候補は、元運輸省港湾局検査官 中西清二氏（51）。会社役員。無所属。支援団体「明日の宿毛市を作る会」。
- ・選挙戦は、長期にわたる前市長時代からの市政の延長か、新市長のもとでの新しい流れを志向するか、が問われ、中西氏が短期間で急速に女性、無党派層を掘り起こし、17年ぶりの保守系候補の一騎打ちに市民も高い関心を寄せた。
- ・結果は、山下8,463票
中西7,034票 投票率78.52%
中西氏は「予想以上の健闘」と評された。
- ・なお前市長 林氏は、父親稷治氏は鳩山一郎秘書、兄 遼氏は元参議、労相と政治家一家。中央とのパイプを活かして、市長在任中に「高知西南中核工業団地の開発」「宿毛湾港の重要港湾指定」「鉄道宿毛線の開通」等、地域開発に尽力した模様。

○市議会：議員総数20名。前回選挙H11.4。次回H15(2003).4。

・議会構成

- 自民 6、社民 1、共産 1、公明 1、無所属11
- ・前回選挙では、23名が立候補。結果は現職13人、元職1人、新人6人。新人は全員が15位以上で、若さや未知の魅力への期待の高さが伺われた。この選挙で世代交代が一気に進んだ。投票率83.76%。

○主な市政課題等：

- ・交通運輸体系の整備
 - ・宿毛湾港（重要港湾）
 - ・H12.11より暫定供用開始
 - ・工業用地（今回調査対象地点）はH13.10より一部分譲開始。ポートセールスが課題。
 - ・前市長時代では、海上自衛隊による利用（水補給）ならびに豪華客船のクルージングの寄港について取り組み、客船「飛鳥」が寄港。
 - ・四国西南空港
 - ・愛媛県、高知県で「適地選定調査」中。
- ・よさこい高知国体（H14.10より開催）

○その他：

- ・市条例、例規集を見る限り、反核・非核都市宣言等は見あたらない。
- ・前市長時代に、宿毛湾内に「石油備蓄基地建設構想」が出たが、前市長が反対。「漁業と共存」を軸に、漁民の協力を取り付けて重要港湾指定を得た（昭和61.6）。

(4)関係県議、国会議員、知事

○県 議：宿毛市、大月町、三原村で定数2

- ・中西 哲（自民党）
- ・二神 正三（フレッシュ21）

参考：県議会構成 41名

自民23、清流会・公明 7、フレッシュ21 1、共産 6、県民クラブ 4

○衆議院：3区 山本 有ニ（自民）

- ・昭和27年生、早大法学部。弁護士。
- ・昭和60年、県会議員。
- ・平成2年、衆議。当選4回。

○県知事：橋本大二郎（無所属）

- ・平成3.12 高知県知事に当選、現在3期目。
地方自治の旗手として、外国艦船の非核証明を国に求める非核港湾条例案提出や職員採用時の国籍条項撤廃など様々な改革に取り組む。
3選目の選挙（平成11.11）では、自民党分裂等もあり、農協トップの所谷候補に14万票差の大差で圧勝。
- ・原子力に対する明確な反対姿勢は表明されていない模様だが、県政に臨む姿勢としては「自然環境重視」「循環型地域社会」「環境産業」「自然に優しい社会資本整備」等がキーワードとなっている。